



### 宮坂良子

#### 市民生活支援・子育て世代の支援を

**問** ①生活保護が削減されガマンも限界、他の基準にも影響。切実な声を国へ上げて。②「等しく教育を受ける権利」があるに基づく就学援助、対象の拡充を。

**答** ①国が責任を持って決めるべきものと認識。②財政状況や近隣自治体の実態を踏まえ、審査で用いる係数の引上げは難しい。

**問** ③国や26市において時期を早める情報はなく、変更する予定はない。

#### 介護保険の新総合事業、現行サービス維持を

**問** ①緩和された訪問・通所サービスの報酬単位の減額。②事業所の意見、対応③要支援者の「今のサービスのように専門職や送迎をお願いしたい」と手紙。市は利用者の声に応えてほしい。

**答** ①現行報酬単位の75%程度に引き下げ。②加算の設定等。③日内提供回数次第で、現行報酬が期待できるとして、現行報酬を維持している。④通所型サービスA「送迎あり」の選択で可能。

**他に、高齢障がい者が安心できる信号機を質問**



### 小野寺 克己

#### 高齢者が活躍するしくみづくりについて

**問** ①高齢者にできる仕事を創出または現在の事業を拡大する仕組みづくりが今後に向けて必要と考えるが、方向性としてはどのようになっているか。②孫育てに関するガイド作成などの方向性について伺う。

**答** ①新しい総合事業で高齢者が訪問型サービスA、通所型サービスBの担い手となることを想定。②楽しく安心して孫育てに参加できるように情報提供等の方法を考えていく。

#### ひきこもりの社会復帰支援について

**問** セミナーや各種講座、保護者向け支援やキャリア・コンサルティングなど、専門家による出張相談など、粕江市に出張してもらうことも検討する必要があると思うが、市の見解は。

**答** 次のステップを踏み出すために、身近な場所にセミナーや各種講座、保護者向け支援や出張相談があれば、一歩を踏みだすきっかけになる。きっかけづくりとして、今後、検討したい。



### 亀井和 美

#### 食品ロス削減に向け「もったいない」をもう一度

**問** ①環境面から食品ロスに対する認識と必要な取り組み。②小中学校における食品ロスに対する環境教育。③食品ロスのメリットとしてフードバンクが掲げられている理由。④備蓄食料の活用方法。⑤国のプロジェクト「食品ロス削減国民運動」に対する認識。⑥小中学校における給食の食べ残しの処理方法と活用状況。⑦市として各部の連携を生かした今後の取り組み。

**答** ①焼却等による温室効果ガスの発生。食材を

**他に、女性の健康に対する取り組みについてを質問**

使い切る。②感謝の気持ちや体験を通して食の大切さを教育。③生活困窮者に対して食料提供することで生活支援。地域の支えあいに寄与。④訓練等で支給。⑤重要な取り組みで、関係各課との連携は不可欠と認識。⑥小学校は生ごみ処理機で処理後堆肥業者へ、中学校は飼料化センターへ引き渡し。⑦食や自然の恵みに対する感謝の気持ち、消費行動の啓発、ごみ減量施策推進で各部と連携。



### 西村あつ子

#### 子育て環境の整備について

**問** ①子ども家庭支援センターは計画通り中心部に移転を。②要望した公立保育園の午睡時の呼吸チェックの対応。③ぎんぎょう保育園の一時保育実施への対応。④学童保育所の3季休業中の開始時間早めて。

**答** ①利便性の向上や機能充実が図られると認識しており、待機児対策と照らし合わせて検討。②順次実施していく。③なるべく早く実施するよう調整中。④夏季休業前までに一定の方向を示したい。

#### 学校教育の充実を

**問** ①指定校の変更で、本来通う学校へ生徒が集まらない現状が続いているが。②教育環境に与える影響はどう捉えているのか。③対策を講じるべき。④組体操実施の市教委の対応と教育効果。⑤安全対策は。

**答** ①三中の傾向は続いていくと認識。②部活動などは先生の人数に影響。③総合的な検討が必要。④安全な実施を全校に通知。規律ある集団行動や体力の向上等に効果。⑤確実な準備運動及び複数教員による指導。



### 石川和 広

#### 市の中期的なビジョンについて

**問** ①福祉政策の方向性を統一し一体化した計画の策定は②基幹型の地域包括支援センター設置への考えについて③子育て計画へのこれまででない取り組みの特徴と計画を確実に実行する為の方策について。

**答** ①第4次地域福祉計画を平成30年度から6年間の計画として策定。②福祉の総合的な相談支援を担う機関として設置を検討。③市長を本部長とする推進本部を設置。重点施策は年次計画を策定、着実に実施。

#### 生活支援の施策について

**問** ①生活困窮者自立支援への取り組みは②地域福祉計画に生活困窮者自立支援の方策が盛り込まれていくのか③ひとり親家庭への支援における制度の周知について④生活安定応援事業についての取り組みは。

**答** ①自立相談事業と就労準備支援事業を実施。②次年度は学習支援事業③地域福祉計画に盛り込む。④市のHPやポータルサイト、パンフレット等により周知。⑤受験生チャレンジ事業で、塾代、受験料の貸付相談。



### 佐々木 貴 史

#### 高橋市長の市政運営並びに市政改革における成果

**問** 平成24年7月に就任された高橋市長は、「失われた16年を取り戻すために」との強い決意のもとに「即断即決即行動」で真剣に市政運営に取り組んだ結果、粕江市は良い自治体へと大きく変わり、名実ともに「日本一安心で安全なまち」と誇れる自治体へと着実に生まれ変わってきている。①他団体等と締結した協定等について伺う。②これまでの成果と課題の整理について伺う。

**答** ①防災関連、地域の活性化、見守り活動など

**他に、女性の健康に対する取り組みについてを質問**

#### 所管事務調査で現地調査を行う

#### 総務文教常任委員会

4月10日に学生団体ivoteと18歳選挙権への対応について、意見交換を行いました。



#### インターネット中継をご利用ください

#### 粕江市議会では、本会議のインターネット中継を行っており、ご自宅のパソコン、スマートフォン等からライブ中継及び録画映像をご覧いただくことができます。

録画映像は、本会議終了後5日後(土日祝除く)からご覧いただけます。ぜひご利用ください。

(注) 議会中継は、公式の記録ではありません。公式記録は、会議録をご覧ください。議会中継に関する著作権は、粕江市議会が所有しています。映像・音声等の無断使用及び無断転載を禁じます。

#### 今後の市議会の日程(予定)

平成28年第2回定例会は、おおむね左記の日程で開催されます。

- 5月19日(木) 本会議 (一般質問)
- 5月20日(金) 本会議 (一般質問)
- 5月23日(月) 本会議 (一般質問)
- 5月24日(火) 本会議 (一般質問)
- 5月26日(木) 総務文教常任委員会
- 5月30日(月) 社会常任委員会
- 6月2日(木) 建設環境常任委員会
- 6月8日(水) 議会運営委員会
- 6月9日(木) 本会議 (最終日)

開会時間は、いずれも午前9時の予定です。また、請願・陳情の締め切りは、6月2日(木)となっております。

なお、都合により日程の変更も予想されますので、傍聴をご希望の方は事前に議会事務局までお問い合わせください。

粕江市役所・議会事務局(3階)  
内線 2341・2342